

員の数及び人選等は決定しておらず概数の段階である。高校については先の課長会議で文教地区として一体化するとの考えから県に意思を伝えてある。高校は中学の仮設校舎としても使える。建設の位置及び木造校舎とするか等の検討は、今後の課題である。

### ●建設課

**Q**：中央公園整備は具体的に何をを行うのか。また、町民にわかるように表示も必要と考える。

**A**：せせらぎ及び遊歩道の調査設計を行う。東日本不動産から取得した土地は芝生広場とし、災害時等の避難場所としたいと考えている。説明看板の設置は考える。

**Q**：土樽自然公園整備につ

いては、図面等の公表が無い。公開を進め、住民の意見を聞き住民が興味を示すような事業を行うべきである。

**A**：まちづくり交付金事業は提案型事業として進めていく。来ていただければ話をするし、計画については地域に前向きに説明する。

**Q**：克雪住宅予算の内容。

**A**：融雪式（最高44万円）、落雪・耐雪式（最高33万円）計15軒分の予算を計上した。但し、所得制限がある。

**Q**：指定管理者として町100%出資の法人が参加していることは不自然と考えるがどうか。

**A**：受託後3カ年以内に公社は解散することになる。

**Q**：都市施設公社が運営に

参加する中で赤字が出た場合、町は支援しないと云ったがどうか。

**A**：支援はしない。

### ●三俣地域振興対策室

**Q**：この事業が進まないのは三俣に一番問題があるが、4年を経過しても動かない。町が進めなければならぬ。土木費も減少しているなか、町の土木事業の活性化にもつながる。5項目を優先して事業化すること。

**A**：地域のみなさんともども進めていきたいので、地域の団結をお願いしたい。

**Q**：近々4者協議である部分合意を図るといいう。街なみ環境整備事業は2/3以上の賛成が必要というが、何年後くらいを考

えているのか。また、道の駅の現状は。

**A**：街なみ環境整備事業は勉強会を進めている。外壁・デザイン等の統一を図り、街づくりを進めていこうというものであるが、地域に説明して同意を得る必要がある。9、10月頃に整備方針を決定し、地域の理解を得たいと考えている。街なみ環境整備事業は2/3以上の賛成がなければこの事業は成立しないので、国の補助金をもらえなくなる。

### ●水道課

**Q**：一般会計からの繰入基準はどうなっているのか、及び将来の繰入金についてはどう考えるか。また、接続が100%になったら使用料がどのくらいになるか。

**A**：交付税に算入されている部分で3億4千800万円が基準内となっている。将来の繰入金についても公債費の元利償還金相当額はもらいたいと考えている。二居・三俣等の整備もしていないし、100%接続の場合の試算はしない。

**Q**：浄化センター職員8名は多すぎる。

**A**：浄化センターは365日稼働し、人員も常駐している。水質検査員2名は毎日出勤していることから、他の6名で7日間の勤務を割り振ることになる。したがって、3、4名/日で管理していることから多いとは思われない。